

作業範囲及び役割分担

凡例：○作業主体 △作業支援 - 作業対象外 ☆承認

作業	作業工程	内容	工程終了基準	役割分担	
				県	受託者
プロジェクト管理	プロジェクト計画書作成・キックオフ会議	プロジェクト計画書を作成し、県及び受託者の間で合意する。また、本プロジェクト計画書を用いてプロジェクトのキックオフ会議を実施し、プロジェクトの開始を宣言する。	プロジェクト計画書の県承認	○ ☆	○
	定例報告会	毎月実施する定例報告会に向けて、資料作成や会議体の実施及び議事録の作成を行う。	定例報告会議事録の双方合意	☆	○
	各工程完了報告会	工程完了時に実施する工程完了報告会に向けて、資料作成や会議体の実施及び議事録の作成を行う。	工程完了報告会議事録の双方合意	☆	○
	プロジェクト管理	プロジェクト遂行時における進捗、品質、課題、コスト、リスクの管理を行う。	-	-	○
	成果物作成・納品	各作業工程で作成された成果物を取りまとめ、県への納品を行う。	成果物の県承認	☆	○
アプリケーション構築	要件定義	機能要件書や帳票一覧をもとに、新パッケージソフトウェアで実現する機能やカスタマイズ事項(画面、帳票、他システム等の変更内容、新システムの事務フロー)を明確にして要件定義書を作成する。	「要件定義書」、「要件確定確認書」の県承認	☆	○
	基本設計	要件定義書をもとに、カスタマイズ設計内容(画面、帳票、データベース、他システム連携仕様、処理ルール等)を明確にし、基本設計書を作成する。	「基本設計書」、「仕様確定確認書」の県承認	☆	○
	詳細設計	基本設計書をもとに、サブシステム、プログラム単位に分割し、システムの内部構造を設計する。	詳細設計書の作成/受託者レビュー完了	-	○
	開発	詳細設計書をもとに、コーディングを行う。	プログラム開発/受託者レビュー完了	-	○
	単体試験	作成されたプログラム単位のテストを行う。	単体試験項目の全消化	-	○
	全体試験	要件定義書をもとに、県要件が実現されているか総合的なテストを行う。運用試験や障害試験も行う。	全体試験項目の全消化	-	○
	現地試験	全体試験項目と同等の試験項目を本番環境でも実施する。	現地試験項目の全消化	☆	○
	性能テスト	通常時及び高負荷時の負荷条件を定義し、負荷ツール(JMeter)により一定の負荷をかけた状態で期待値通りの性能結果が出るかを検証するテストを行う。	性能テスト結果報告書の県承認	☆	○

作業	作業工程	内容	工程終了基準	役割分担	
				県	受託者
	運用テスト (ユーザ検証)	県にて本番業務に支障をきたさないかを確認するとともに本稼働の最終判定を行う。 未完了の障害がある場合は、その対応時期が県と合意できていること。	運用テスト項目の全消化	○	△
データ移行	データ移行計画	移行時期、前提条件、検証方法、補正方法、移行対象データ、移行範囲、データ抽出時期等を検討し、データ移行に関する計画書を作成する。	「データ移行計画書」の県承認	☆	○
	データ移行設計	データ移行計画書をもとに、新システムへデータ移行するツールを作成するために、現新データ項目をマッピングして、移行する際の編集方法等をデータ移行設計書として作成する。	データ移行設計書の作成／受託者レビュー完了	－	○
	移行ツール製造	移行設計書をもとに、データ移行ツールを製造する。	データ移行ツールの作成／受託者レビュー完了	－	○
	移行ツールテスト	製造したデータ移行ツールのテストを行う。テストは、受託者で作成したテストデータを用いて実施する。	データ移行ツールのテスト完了	－	○
	データ抽出	現行システムよりデータ移行用にデータ抽出を行う。抽出回数は、 結合テスト前仮移行 移行リハーサル1回目(総合テスト前) 移行リハーサル2回目(運用テスト前) の3回実施する。	本番移行の完了	－	○
	仮移行(リハーサル)	総合テスト実施前及び運用テスト実施前に本番移行を想定した移行作業を実施する。 ※現新システムにおけるデータ移行件数、帳票比較、画面での無作為チェックを行うことで、データ移行が問題なく、実現されていることを確認する。	仮移行結果報告書の県承認	△ ☆	○
	データ検証	データ移行した結果を検証する。総合テストは受託者、運用テストは県が主体となって確認を実施する。	データ移行結果の県確認	○	○
	本番移行	本番データ移行を実施する。	本移行結果報告書の県承認	△ ☆	○
	環境構築	インフラ要件定義	県仮想化共通基盤で用意する仮想環境において、文書管理システムのサーバ構成(要求リソース)、ソフトウェア構成など、インフラに係る要件を明確化する。	「インフラ要件定義書」の県承認	☆
インフラ設計		インフラ基本設計書をもとに、OSやソフトウェアのパラメータを設計する。	インフラ設計書の作成／受託者レビュー完了	－	○

作業	作業工程	内容	工程終了基準	役割分担	
				県	受託者
	環境構築	県仮想化共通基盤から払い出された仮想環境にパッケージソフトウェアのインストールを実施する。	パッケージシステムのインストール完了	—	○
	インフラテスト	構築した仮想環境のインフラテスト（障害通知テスト、バックアップ・リストア確認）を実施する。	インフラテストの完了／受託者レビューの完了	—	○
研修	研修計画	研修スケジュール、研修シナリオ、研修対象者等を検討し、研修計画書を作成する。	「研修計画書」の県承認	☆	○
	職員用操作マニュアル作成	各画面のヘルプマニュアルについて、パッケージ標準マニュアルをベースにカスタマイズ分を反映した県用ヘルプマニュアルを作成する。	職員用操作マニュアルの県承認	☆	○
	運用手順書作成	管理者用操作マニュアルやシステム復旧手順書を作成する。	運用手順書の県承認	☆	○
	研修動画作成	研修シナリオをもとに、研修動画を作成する。	研修動画の県承認	☆	○
	研修動画による研修実施	研修動画を用いて、各職員が自席学習を行う。	—	○	△